

令和5年度第3回「和水町地域公共交通会議」

期 日：令和5年11月9日（木）

時 間：14:00～15:20

場 所：和水町中央公民館

出席者：別紙名簿のとおり

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

(1) 議案第1号 和水町地域公共交通計画の素案について

～事務局より説明～

(会長：和水町総務課長)

- ・説明内容について、意見や質問等ないか。

(熊本県交通政策課：高松委員)

- ・素案 P8 にあいのりくんにかかる町の財政負担額が記載されているが、町地域公共交通会議への負担金もあいのりくんの財政負担額に含まれるのか。
- ・素案 P34 にあいのりくんの利用頻度についての記載がある。利用頻度を高めるのであれば、他都市では、乗合タクシーの料金体系を定額として乗り放題にすることで多く利用してもらえるようになるが、そのような施策は検討されているのか。
- ・素案 P55 に商業施設と連携とした電子マネーの導入とあるが、具体的に検討されているのか。熊本県で導入されているくまモンの IC カードであれば、路線バスでも買い物でも利用できて便利と思われる。
- ・素案 P57 に目標達成状況の記載があるが、公共交通の利用割合に関しては○や×の記載がないがその理由は何か。
- ・素案 P58 に評価として、わかりやすい情報環境の実現が図られているとの記載があるが、前段で路線バスやあいのりくんの認知度が低いとの記載もあった。わかりやすい情報環境の実現が指すものはなにか。
- ・素案 P79 の目標では路線バスに関する記載もあるが素案 P80 の施策・事業においては路線バスに関する記載がない。
- ・素案 P88 に交通結節点の強化とあるが、あいのりくんから路線バスの乗り継ぎをスムーズにするために、デジタルサイネージで時刻表や乗り継ぎモデルケースを掲示する等を実施してはどうか。

(事務局)

- ・素案 P8 のご指摘については、町地域公共交通会議への負担金はあいのりくんの財政負担額には入っていないので削除する。
- ・素案 P34 のご指摘については、現状では定額制等の対応は考えおらず、都度払いの運行を継続することを考えている。
- ・素案 P55 のご指摘については、ヒアリング調査から得られた商業施設からの意見であり、町としては現時点で導入を検討していない段階である。
- ・素案 P57 のご指摘については、目標値設定時には JR を含めた公共交通の利用頻度となっており、

今回は路線バスとあいのりくんの利用頻度であるため、単純比較できないことから○や×の記載していない。

- ・素案 P58 のご指摘については、町として広報紙や各団体へあいのりくんの周知を実施しており、情報環境の実現が図られていると考えている。
- ・素案 P79, 80 のご指摘については、あいのりくんと路線バスの乗り継ぎ環境を改善すること等も記載しており、路線バスの利用者増加にも寄与すると考えている。
- ・素案 P88 のご指摘については、あいのりくんと路線バスの乗り継ぎ環境を改善することは、町としても検討している。ただし、デジタルサイネージの設置は検討しておらず、乗り継ぎモデルケースや時刻表に関しては広報紙等で周知を図っていきたいと考えている。

(熊本運輸支局：白石委員)

- ・素案 P75 にあいのりくんの収支率が記載してあるが、路線バスの収支率についても記載することが望ましい。
- ・素案 P54 に交通事業者へのヒアリング結果として、行政と交通事業者による日常的な意見交換の場の創出や運転手募集にあたっての行政との連携などが記載されているため、素案 P89 の施策において路線バス事業者やタクシー事業者との具体的な連携方法について記載してはどうか。
- ・素案 P55 にケアバスの公共交通との一体的な運用と記載がある。ケアバスの運行経費は、年間 100 万円程となっており、恐らく職員等の方が日常業務の中で運行しているため運行経費が少ないと思慮される。地域公共交通計画は緑ナンバーのみでなく白ナンバーの自家用有償等も含め輸送資源を一体的に運用するといった趣旨もあり、ケアバスに関する施策事業も挙げられているため是非とも取り組んでいただきたい。

(事務局)

- ・素案 P75 のご指摘については、内部でデータ整理させていただき、検討させていただきたい。
- ・素案 P54, 89 のご指摘については、あいのりくん拡充時の際、町の広報紙でドライバー募集について掲載したこともある。バス事業者とはまだ実施できていないが、計画書への記載も含め今後実施させていただきたい。
- ・素案 P55 のご指摘については、病院の職員や会計年度職員がケアバスを運転することで人件費が抑えられている。ケアバスについての具体的な施策は P83 に記載しており、町立病院と連携し財政負担の抑制などを視野に入れ方針を検討していきたい。

(民生委員・児童委員協議会：豊後委員)

- ・あいのりくんは日頃から便利だと感じている。あいのりくんの運転手は日々運行しているため、改善事項等、考えている部分があると思われる。あいのりくんの運転手に対して、聞き取り調査は実施しているか。
- ・路線バスとあいのりくんの乗り継ぎの話があったが、乗り継ぎの需要は本当にあるのか。あいのりくんの利用方法として、町内の移動がほとんどであると思われる。地域に合った計画としていただきたい。

(事務局)

- ・あいのりくんの運転手からの要望に関しては、運転手から予約センターへ直接連絡があることもあり、情報を適宜収集して改善につなげている状況である。
- ・路線バスとあいのりくんの乗り継ぎに関しては、町内など近い場所でも利用してもらえるための啓発活動に取り組みたいと思っている、小学生等を対象に乗り方教室等を実施することで、小

い頃から公共交通に親んでもらい路線バスに乗車する意識を植え付けていきたい。

(副会長：柿本教授)

- ・調査を実施し町民の移動ニーズを把握しているが、町としてどの程度の移動ニーズを公共でサポートすることを考えているのか。
- ・目標値の設定として、利便性向上の目標値として、利用人数が記載されている。利用人数の増加は効果であり、指標としてはアクセス性の向上等で示すことが適切だと思われる。
- ・あいのりくんの収支率の目標が 7%以上とあるが、持続可能性を考慮すると 7%以上で本当に問題ないのか。サービスを供給する上で、費用と収入の差が縮まらないと維持できないのではないのか。

(事務局)

- ・目標値として、あいのりくんの利用登録者数 953 人と設定している。これは、あいのりくんを利用してみたいと回答した 65 歳以上の人数を考慮し設定した。町としては、利用意向がある人をサポートしていきたいと考えている。

(副会長：柿本教授)

- ・仮に 953 人があいのりくんの利用意向を示した場合、あいのりくんでカバーすることは難しいのではないのか。953 人のうち、どの程度をあいのりくんでカバーすることを考えているのか。

(事務局)

- ・あいのりくん登録者のうち、菊水地区で 76%、三加和地区で 63%が年間利用回数 4 回以下となっている。利用回数が少ない方は、自家用車も保有しており、あいのりくんと併用していることが想定される。町としては、利用頻度が高い方、本当に必要としている方にあいのりくんを利用していただきたいと考えている。

(会長：和水町総務課長)

- ・様々なご意見をいただいたが、議案については承認で問題ないか。

(一同)

- ・承認する。

(2) 議案第 2 号 和水町おでかけ交通「あいのりくん」の運行改善について

～事務局より説明～

(会長：和水町総務課長)

- ・説明内容について、意見や質問等ないか。

(会長：和水町総務課長)

- ・ご意見がないため、議案については承認で問題ないか。

(一同)

- ・承認する。

(3) 報告第 1 号 運転免許証自主返納支援事業の実施について

～事務局より報告～

(会長：和水町総務課長)

- ・説明内容について、意見や質問等ないか。

(民生委員・児童委員協議会：豊後委員)

- ・現状、町の高齢化率は 43.2%となっており、80 歳以上の方などには免許返納などをお願いしてい

るが、90歳以上でもまだまだ運転している状況である。高齢者の免許保有者数も把握しておいた方がよいのではないか。

(事務局)

- ・ 高齢者の免許保有者は把握していないが、自主返納した人数としては、年間平均 31.8 人となっている。
- ・ 高齢者の免許保有者数については、調査を検討したい。

(民生委員・児童委員協議会：豊後委員)

- ・ 今後、高齢者が増加傾向となる中、データ等については把握してもらいたい。

4. その他

(1) 事務局より

- ・ 今後のスケジュールとしては、ご指摘事項を修正し、12月頃に書面決議を実施する。
- ・ 承認後、来年1月にパブリックコメントを実施、3月に計画策定の流れを考えている。

5. 閉会

以上

別紙：出席者名簿

令和5年度 和水町地域公共交通会議 委員名簿

No.	組織・団体名	役職	氏名	
1	和水町	総務課長	石原 康司	【会長】
2	産交バス株式会社	玉名営業所長	宮島 雅彦	【監査委員】
3	有限会社高瀬合同タクシー	執行部長	高松 清二	
4	有限会社三加和タクシー	代表取締役	西本 朗	
5	一般社団法人熊本県バス協会	専務理事	富田 廣志	(欠)
6	一般社団法人熊本県タクシー協会	事務局長	齊藤 ゆか	
7	和水町区長会	中央校区代表区長	小出 正泰	(欠)
8	和水町区長会	南校区代表区長	坂本 龍之	
9	和水町区長会	東校区代表区長	大山 浩昭	
10	和水町区長会	西校区代表区長	深草 清信	
11	和水町区長会	緑校区代表区長	橋本 幸雄	
12	和水町区長会	神尾校区代表区長	内原 忠男	
13	和水町区長会	春富校区代表区長	寺尾 清孝	
14	和水町老人クラブ連合会	会長	平居 俊博	(欠)
15	和水町民生委員・児童委員協議会	会長	豊後 力	【監査委員】
16	和水町商工会	副会長	木部 礼一	(欠)
17	和水町地域婦人会	会長	坂本 由美子	
18	九州運輸局熊本運輸支局	首席運輸企画専門官(企画調整担当)	白石 勇人	
19	九州運輸局熊本運輸支局	首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	田村 正宜	(欠)
20	全九州産業交通労働組合	副執行委員長	貢 博之	(欠)
21	熊本県自動車交通労働組合	副執行委員長	小田原 和美	
22	熊本県 県北広域本部 玉名地域振興局 土木部	維持管理調整課長	村上 記康	
23	和水町	建設課長	中嶋 啓晴	
24	熊本県警察 玉名警察署	交通課長	星子 博秋	
25	国立大学法人 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター	センター長・教授・博士	柿本 竜治	【副会長】
26	熊本県企画振興部 交通政策・統計局 交通政策課	審議員	高松 江三子	
27	和水町社会福祉協議会	事務局長	樋口 幸広	

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

事務局 (和水町まちづくり課)	事務局長(課長)	坂口 圭介	
	係長	前淵 哲治	
	主事	戸上 健太	
	主事	島添 花純	